

## イスラ ムの包括性（その3）完全かつ十分であり ける き

:

明:イスラ ム法が普遍的であることの 例。

目:[事イスラ ムの信条「信仰の六ヶ条」とその他のイスラ ムの信条](#)

より: ジャマ ルッディ ン ザラボゾ

ED9 Apr 2012

集日 09 Apr 2012



まず第一に、 的に言って、人 の性 は が っても わりません。道 や品行に する法は不 であるからです。人 の性 は わらないため、ある に魂に害を及ぼすものは常に害を及ぼすものであり けます。たとえば嘘や不 は神の怒りを うものであり、魂を つけるという事 は わりません。ゆえに、このような人 の性 に わることに する教えは既に まっていて、それは 判の日まで同じです。人 の性 の基 となる宗教 礼も わる必要はありません。神だけが、どのような崇 行 が良いのかを知っていますし、もし神が特定の行 が 判の日まで正しいとするなら、他の もそれを えることはできません。そのような宗教 礼を 明すると、イスラ ムは 格だと言う人がいるかもしれませんが、その点に してだけは 格であるべきなのです。その点ではイスラ ムの普遍性や 用性は えることはできません。

第二に、人 が避けるべき有害なものもあります。そういう のものは明 に、そして永久的に禁止されています。例えばアルコ ルやその他の有害物 は、常に人 にとって有害で

す。クルアーンにも言及されていますが、として人は、アルコールが体に有益であると言います。しかしアルコール消費が良い事であるとは、どの社会も主張することはできません。アメリカだけをても、アルコールが何をもちたらすかがお分かりでしょう。アルコールの用のせいで山の家庭が崩れています。アルコールを取したの は危 で、 々な措置が みられてはいますが、いまだにそのせいで多くの命が われ、 山の人々が大けがを っています。アルコール中毒者たちは仕事につけず、国や自治体に生活保 を受けていますが、それも他の市民たちの 担になっているのです。こういったことに しては、アルコールが されるべきいかなるまともな もないことから、イスラ ムではそのような を永久的に禁じています。（ かに、中毒者たちからアルコールを うことはほぼ 理なので、いまだにアルコールは合法なのだ と主 する人もいるでしょうが、これこそアルコールがいかに有害かという ことを示しています。）

第三に、人 にはいくつかの かい法と、 代や 所を わず、 われるべき一般的な法の 方が必要です。その 方を提供するの が、イスラ ム法です。神は私たちが何を食べるべきか、 婚、国 などについては、 かい法を 与えて下さります。学者はこの かい法から、新しい事例の中での法を つける事ができるのです。また一般的な法からは、例えば 言者の代には起こらなかった出来事などに する法を 考えることができます。

第四に、例えば商取引 社会活 における契 に しては、大概のことはそれが法外であるという根 がない限り、合法ということになります。つまり、イスラ ム法はかなりの融通がきくということです。例えばビジネスでは、イスラ ムにおいて利子、危 すぎる金 取引、ギャンブル、 欺、虚 、法外な商品の取り い、 制などを禁じています。これらがビジネスにおいて有害となる、禁じられた取引です。つまり、 代が わりビジネスの形 が変わったとしても、全ての人が、どの取引が合法であるかということがイスラ ム法では分かるのです。ゆえにイスラ ム法は1400年 遵守されているのであり、イスラ ムの教えによれば、 判の日まで遵守できるものなのです。2人のビジネスマンは、それが有害なもの、法外なものでない限り、新たな契 形 を することができます。イスラ ムでは 数の取引が合法なのです。

最後に、判の日まで有用でありける完全で括的なイスラム法が神からの大な祝福であり、それゆえに私たちは神にうべきなのだということがされなければなりません。去に度ものみはありましたが、人々は一部の地域の限られたの中で守られるべき完全な法を作る事さえもできません。サイドクトゥブはこの点について雄弁にしています。

人が自分の力で哲学的なコンセプトや生き方をしようとするとき、それらは包括的にはなり得ません。それが部分的に正しく、またある特定の、所では正しいかもしれませんが、のと所では当てはまらないということになるからです。さらに言えば、人はたった一つのを解しようとするときでさえ、全ての面からそのをすることは出来ないため、解策にく状の全てを考えることができません。なぜなら、がと所を超えたものであったり、人の理解は察の域を超えた前例やにわったりするからです。

つまりとして、人によって作られたいかなる哲学も生き方も、包括性を有する事はできません。大体は、人生のある一面において正しいか、ある特定の期に当てはまるだけで、その限られたのために、多くの欠点が出てきます。その一性のため、に改ざんが必要になった合にはが生じるからです。人々や国家は、その社会的、政治的、的システムを、人が作った哲学から作り上げようとするれば、多くの矛盾や弁にぶつかることになります。

神がつくった法が全ての所と土地で、人にとっていかに最善なのかということを理解するために、最近物をかもしている一例をてみましょう。割礼はイスラムの良く知られたの一つです。ここ数十年は医者や科学者たちは、人の限られた知性のために、割礼の善ししをめられずにいました。あるときには、割礼は良いだとし、あるときには、それは有害益だとししました。今の点でされたことは、もちろんそれがまたいとされることになるかもしれないのですが、割礼はエイズの予防に最だとしています。アフリカの各地で今、多くの人に割礼を施そうとしています。

おそらくこのようなケスが山られたあとは、人々は神から送られた完全で、の所になく人にとって最善のきがあると理解することでしょう。

# 永久に完全かつ十分である き

要すると、イスラムの教えは完全で、と所をわずにわれうる教えであるということになります。それは、世と来世の幸せのためにムスリムが必要な全てなのです。ゆえにそこでは、何の追加も、改ざんも、削除も必要とされません。神が送ったものを自分たちの手でより良くできている人々は傲慢なのであり、その人が成できることではないのです。これらの理由から、言者ムハンマドは宗教的革新、そして教に決して警告しています。そのようなことは全く必要のないことであり、それはイスラムの完璧さや美しさをうものなのです。言者はこう言いました。

??

彼はまたこう言いました。

??

言者はこう言いました。

??

この 事のウェブアドレス:

<https://www.islamreligion.com/index.php/jp/articles/507>

著作 2006-2015 断 を禁じます。 2006 - 2023 IslamReligion.com. 断 を禁じます。